年度 2008　学期 前期	曜日・校時　火曜日 1 校時	必修選択　必修	単位数　1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションII English Communication II		
対象年次 1	講義形態　演習	教室	
対象学生(クラス等)	Ed	科目分類　外国語科目(英語)	

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー

担当教員:川島浩勝　/Eメールアドレス:なし　/研究室:長崎外国語短期大学 3 階 334 号　/TEL:095-840-2000 (内線 334)

/オフィスアワー:授業終了後、質問を受け付けます。また、話し合いにより後日、時間を設定する場合があります。

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標

授業のねらい:英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語運用能力の基礎を作る。

授業方法(学習指導法):授業はリスニング中心に展開され、1)英語の会話文を多量に聴くタスク、2)文レベルで英語を正確に聴き取り、弱点を把握するタスク、3)リスニングのための語彙力をアップするタスク、4)英語のミニマルペアーを聞き分けるタスク、5)英語のミニマルペアーを正しく発音するタスク、6)英語の連続音を聞き取るタスク、7)聴いた英文をワーキングメモリー内に残すタスク、等から構成されている。毎回の授業では、受講者の英語習熟度に応じて、それぞれのタスクが効果的に組み合わされる。また、タスクの達成度が把握でき、自己の学習状況がモニターできるように、定期的に小テストが実施される。

授業到達目標:授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・リズムに対応できる、2)英語の母音のミニマルペアーの聞き分けができる、3)英語の母音のミニマルペアーを正しく発音できる、4)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、5)接続詞、後置修飾を含む英文を聴き、口頭でリピートしたり、あるいは、文字で書き写すことができる、の5つである。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

第 1 回:方針説明・発音の重要性の確認・リスニングの本質の理解・英語学力診断テスト

第 2 回～第 6 回:90 分授業を大まかに 3 つのパートに区分:A(約 25 分)、B(約 25 分)、C(約 25 分)、D(約10分)

A:Extensive Listening (アメリカの家族生活を題材とした 5 種類のDVD → 理解可能な英文の書き取り)

B:8 タイプの母音ミニマルペアーの聞き分け練習ならびその発音練習

C:会話文の音読(リピーティング、シャドーウィング)

D:リスニングのための語彙力整理(発音チェック)

第 7・8 回:練習成果テストに基づく第 2 回～第 6 回のまとめ

第 9 回～第 14 回:90 分授業を大まかに 3 つのパートに区分:A(約 30 分)、B(約 20 分)、C(約 25 分)、D(約10分)

A:Intensive Listening (アメリカの家族生活を題材とした2種類のDVD → 連続音の理解・聞き取り)

B:練習した母音ミニマルペアーに関する弱点の克服

C:会話文の聞き取り練習(音変化の把握・理解 → 音読練習)

D:リスニングのための語彙力アップ(ペアーによる高速反応練習)

第 15 回:全体のまとめ(試験を含む)

キーワード	
教科書・教材・参考書	第1回目の授業で実施する英語学力診断テストにより決定する。
成績評価の方法・基準等	定期考査 60%　小テスト 20%　レポート 20%　ただし、遅刻1回でマイナス3点/欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習・教育目標	
備考(準備学習等)	